

「主な取組」検証票

施策展開	2-(4)-ウ	安全・安心に暮らせる地域づくり	施策	③20歳以上の者の適正飲酒及び少年の飲酒防止対策の推進
			施策の小項目名	〇20歳未満の者の飲酒の危険性・有害性に関する教育・広報啓発
主な取組	青少年健全育成事業（飲酒の危険性・有害性関連）		対応する成果指標	泥酔者保護件数
施策の方向	・少年に対し、教育委員会や学校、警察、保護者、地域等が連携し、飲酒の内容も含めた非行防止教室において、その危険性・有害性の教育・広報啓発に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画			
		活動指標(アウトプット)			
		R4	R5	R6	
薬物乱用防止教室を通じた違法薬物の危険性や飲酒の有害性について、広報啓発活動を推進する。	県	飲酒の危険性、有害性に関する非行防止教室の開催			
		飲酒の内容も含めた非行防止教室の実施(累計)			
		229回	229回(458回)	229回(687回)	
担当部課【連絡先】	県警本部生活安全部少年課		【 098-862-0110 】	関連URL	—

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)			
予算事業名 非行を生まない社会づくり				予算事業名 非行を生まない社会づくり			
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	R6年度			
				主な財源	実施方法	当初予算額	
県単等	直接実施	131,803	142,189	県単等	直接実施	169,644	
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画			
薬物乱用防止教室を通じた未成年者の飲酒の有害性や違法薬物の危険性について、今後も継続した広報啓発活動を実施した。				薬物乱用防止教室を通じた違法薬物の危険性や飲酒の有害性について、今後も継続した広報啓発活動を実施する。			
活動指標名	飲酒の内容も含めた非行防止教室の実施(累計)		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
		221回	281回	320回	229回(458回)	100.0%	順調
進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果							
令和5年中における安全学習支援隊等による薬物乱用防止教室は、320回、延べ68,704人(前年比91回、4,203人増加)実施したほか、講話の対象者を小学生から高校生まで広く設定し、開催回数を多くした結果、目標値を達成した。							
(2) これまでの改善案の反映状況				反映状況			
令和5年度の取組改善案				反映状況			
〇児童生徒に対して、学校、保護者、地域等と連携して、飲酒の有害性の内容も含めた薬物乱用防止教室の広報啓発に取り組んだ。				〇令和4年度と比較して91回増加し、目標値を達成しており、効果的な活動が行われている。			

3 取組の検証 (Check)

類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	薬物事犯の低年齢化等、身近に危険性があることを認識させるため、飲酒の内容も含めた薬物乱用防止教室を更に推進する必要がある。

4 取組の改善案 (Action)

類型	内容
⑧ その他	覚醒剤、大麻等の違法薬物使用の危険性と併せて、飲酒・喫煙の身体に与える有害性も薬物乱用防止教室で児童生徒に引き続き広報啓発していく。